

認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業

R3 年度最終報告書

一般社団法人セーフティネットリンケージ

2022年3月19日

目次

■音声 SNS 実地調査について.....	2
実地調査の結論.....	2
●実地調査Ⅰ：5月10日、京丹後市講演会のアンケート結果.....	3
●実地調査Ⅱ：5月13日、認知症にやさしい異業種連携協議会 第3回特別編セミナーアンケート結果.....	6
●実地調査Ⅲ：11月1日、霧島市講演アンケート結果.....	6
■モニター確保テスト.....	12
実施の結論.....	13
■プレ効果検証(流れの一部確認)について.....	14
実施の結論.....	14

音声 SNS 実地調査について

本年度は、地域共生支援アプリを認知症当事者（ご家族含む）の方々が、日常から使用し続けてもらえるようにするために、音声 SNS の改修に取り組んだ。認知症当事者（ご家族含む）の方々が使いやすいものである必要があると同時に、認知症当事者の方々がスマホを使えない、使えていたけど使えなくなったとしても、第三者によりサポートしてもらえる環境を整える必要があるため、第三者が地域共生支援アプリであればサポート出来ると思えるか、音声 SNS に興味を持ってくれるか、音声 SNS を認知症当事者（ご家族含む）に進めたいと思うか等、音声 SNS の需要に関しても意識調査を行なった。

具体的には講演の参加者（基本的に、認知症サポートや地域の見守りに興味のある団体、事業者）に、地域共生支援アプリをダウンロードして頂き、アプリ内アンケート調査を行なった。そのため、講演会にご参加頂けた方で、地域共生支援アプリをダウンロードして、QR コードを利用してグループに参加していただいた方々に回答者は絞られる。（京都府主催、京丹後市青年会議所主催の講演は、いずれも Zoom で開催のため、紙でのアンケートは実施していない。）

また、地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）の音声 SNS への改修に伴い、認知症当事者（ご家族含む）の方々と認知症当事者を支援する団体の双方にとって、昨年度に続き、①認知症当事者がアプリをダウンロードできるのか、②アプリを使い続けられるのか、③支援団体がアプリダウンロードのサポートを出来ると思えるのかの調査も行なった。

以下、アンケート結果を記載である。

※注意※

一部、地域共生支援アプリ内アンケート実施の際に、設問に間違いがあり、回答者の数字が前後の設問と違う箇所がある。

実地調査の結論

京都府、京丹後市ともに、「地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）を、認知症の当事者・ご家族にすすめたいと思うか？」という質問に対して、トップ 2 ボックスの「すすめたい」と回答して頂いた方々は 94%～100%と高評価であった。次に、「QR コードでグループに参加できる仕組みを体験して、もし認知症の当事者、ご家族から、みまもりあいアプリのダウンロードを手伝ってほしいと頼まれたとき、サポートしてあげられると思いますか？」という質問に対して、トップ 2 ボックスの「サポート出来る」という回答は 85%～86%と高評価を得られ、個人情報非取得の地域共生支援アプリであれば、認知症当事者を第三者がサポート出来る環境であると言える可能性が高いことが分かる。

続いて、音声 SNS の需要を確認した「認知症当事者の音声リレー企画」をどう思いますか？」という質問に対して、トップ 2 ボックスで、79%～91%と、参加者から面白い取り組みであるという評価を得られた。また、「認知症当事者のオンラインピアサポート」が始まったら（今年の秋以降の予定）、当事者やご家族にすすめたいですか？」という質問に対して、「当事者やご家族にすすめたい」と回答した方々

は、トップ2ボックスで94%であった。さらに、霧島市のアンケート結果で、「誰もが困ったときに頼れるデータベース「声の図書館」が欲しいですか？」という問いに対し、トップ2ボックスで、79%の方々が欲しいと回答。また、「霧島市専用のラジオを聞いてみたいか？」に関しても、トップ2ボックスで、80%の方々が聞きたいと回答。そして、ご利用者・スタッフに「声の図書館」が欲しいかに対する回答は、ご利用者に対して欲しいと回答した方々はトップ2ボックスで86%、スタッフに対して欲しいと回答した方々も、トップ2ボックスで86%といずれも高い評価が得られた。これらにより、地域共生支援アプリの音声SNSに需要があることが伺えると共に、認知症当事者の声を求めている事が分かる。

そのため、来年度の効果検証の際には、地域の支援団体と協力をして、番組のバラエティーを増やすと同時に、認知症当事者が活躍できる場も用意することで、QOL向上が見込めると考える。認知症当事者（ご家族含む）においては、満足度が高いサービスを提供できると思われるが、課題としてはマネタイズが上げられる。新しい取り組みの為、利用シーン、効果が見えにくく、すぐにサービスからの売上が発生しにくい状況である。そのため、来年度は、効果検証を行ないながら、マネタイズにフォーカスしていく。

●実地調査：5月10日京丹後市講演アンケート結果

みまもりあいプロジェクトを京丹後市に広める目的と同時に、音声SNSの需要を確認する目的で、京丹後市青年会議所主催により、Zoom講演会を実施した。

以下、アンケート結果のまとめである。尚、アンケートは地域共生支援アプリ内で実施。そのため、Zoom参加時にスマホを所持していない参加者は、アンケートに回答頂けていない状況である。

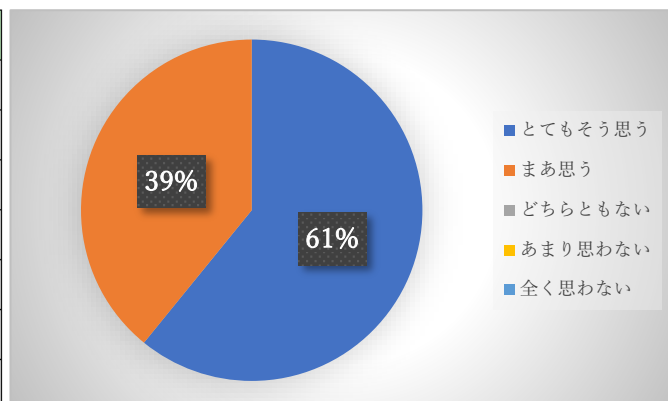
支援団体への調査

実施日時	2021年5月10日
実施場所	Zoom
対象者	見守り事業に興味のある京丹後青年会議所メンバー関連の方々（参加者数49名）
調査員	高原達也、塩澤卓巳
<p>【調査まとめ】</p> <p>[1] 地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）を認知症の当事者・ご家族にすすめたいと回答して頂いた方々は、トップ2ボックスで、100%という回答を得られた。</p> <p>[2] 設問2より、個人情報非取得の地域共生支援アプリであれば、認知症当事者を第三者がサポート出来る環境であることが分かった。</p> <p>[3] 設問3、設問4より、みまもりあいプロジェクトの有効性を示すことが出来た。</p> <p>[4] 設問5より、見守りだけでなく、防災にも強い関心を示している事が伺える。</p> <p>[5] 設問7より、音声SNSの需要を確認した結果、トップ2ボックスで、79%の参加者から面白い取り組みであるという評価を得られた。</p>	

詳細：

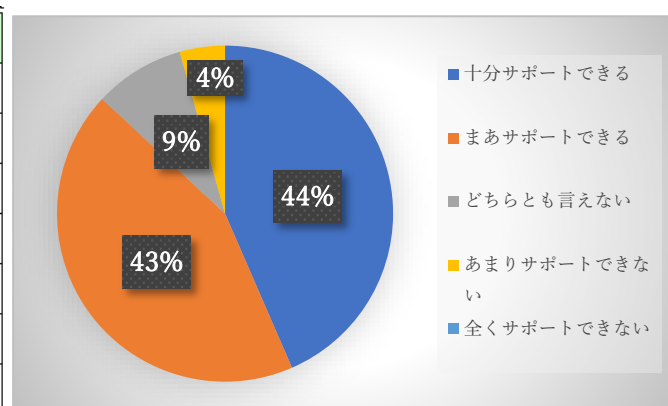
設問1 みまもりあいアプリを認知症の当事者・ご家族にすすめたいと思いますか？

	人数	%
とてもそう思う	14	61%
まあ思う	9	39%
どちらともない	0	0%
あまり思わない	0	0%
全く思わない	0	0%
無回答	0	0%
計	23	100%



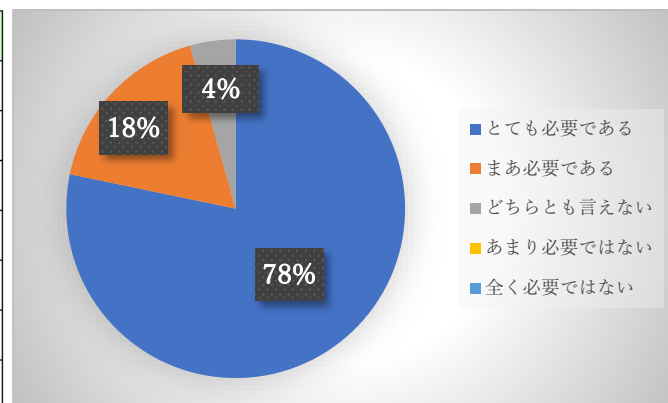
設問2 QRコードでグループに参加できる仕組みを体験して、もし認知症の当事者、ご家族から、みまもりあいアプリのダウンロードを手伝ってほしいと頼まれたとき、サポートしてあげられると思いますか？

	人数	%
十分サポートできる	10	43%
まあサポートできる	10	43%
どちらとも言えない	2	9%
あまりサポートできない	1	4%
全くサポートできない	0	0%
無回答	0	0%
計	23	100%



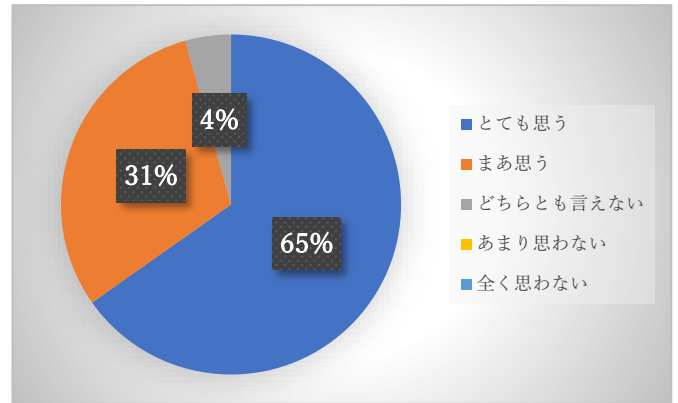
設問3 個人情報を守りながら、地域に関わる人たちの力を借りて、早期発見を実現する「みまもりあいプロジェクト」の取り組みをどう思われますか？

	人数	%
とても必要である	18	78%
まあ必要である	4	17%
どちらとも言えない	1	4%
あまり必要ではない	0	0%
全く必要ではない	0	0%
無回答	0	0%
計	23	100%



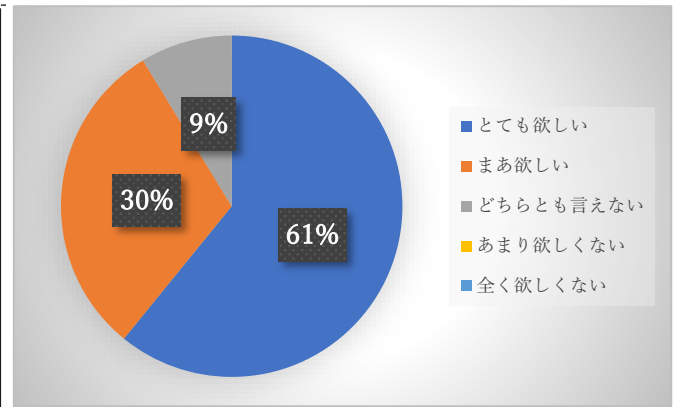
設問4 自身が関わる地域（近所）に「みまもりあいプロジェクト」を広げたいと思いますか？

	人数	%
とても思う	15	65%
まあ思う	7	30%
どちらとも言えない	1	4%
あまり思わない	0	0%
全く思わない	0	0%
無回答	0	0%
計	23	100%



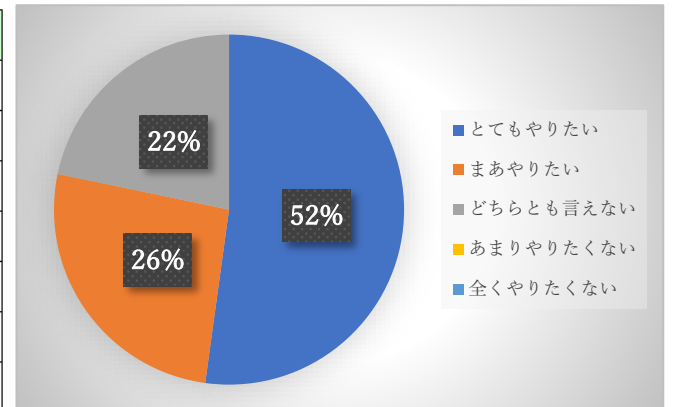
設問 5 日常は情報共有、災害時は、エリア内にいるアプリダウンロード者に対して、災害情報を配信できたり、共有しあえる仕組みに対して必要と思いますか？

	人数	%
とても欲しい	14	61%
まあ欲しい	7	30%
どちらとも言えない	2	9%
あまり欲しくない	0	0%
全く欲しくない	0	0%
無回答	0	0%
計	23	100%



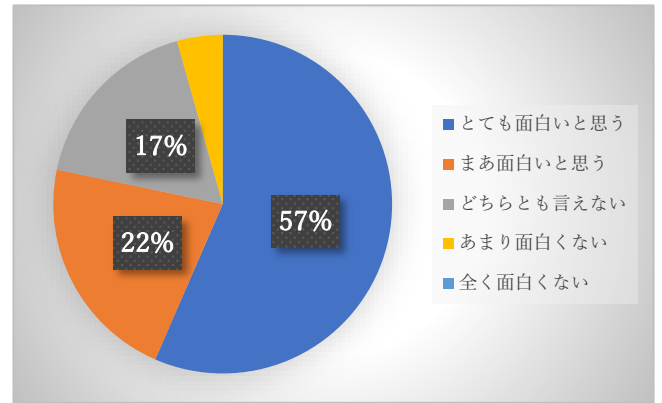
設問 6 コロナが落ち着いたら「見守り訓練・かくれんぼスタンプラリー」をやりたいですか？

	人数	%
とてもやりたい	12	52%
まあやりたい	6	26%
どちらとも言えない	5	22%
あまりやりたくない	0	0%
全くやりたくない	0	0%
無回答	0	0%
計	23	100%



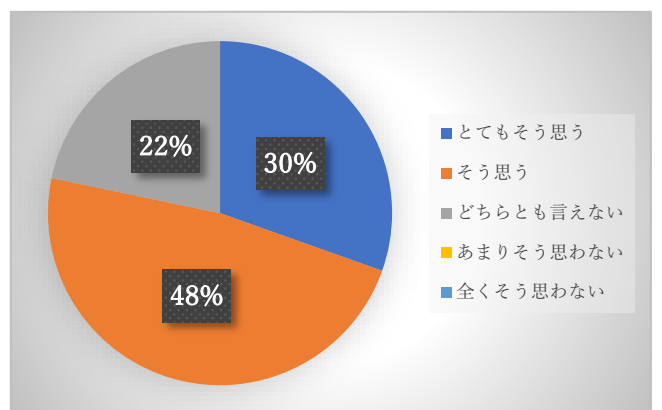
設問 7 「認知症当事者の音声リレー企画」をどう思いますか？

	人数	%
とても面白いと思う	13	57%
まあ面白いと思う	5	22%
どちらとも言えない	4	17%
あまり面白くない	1	4%
全く面白くない	0	0%
無回答	0	0%
計	23	100%



設問 8 「みまもりあいプロジェクト」を手伝いたいと思いますか？

	人数	%
とてもそう思う	7	30%
そう思う	11	48%
どちらとも言えない	5	22%
あまりそう思わない	0	0%
全くそう思わない	0	0%
無回答	0	0%
計	23	100%



● 実地調査 II :

5月13日、認知症にやさしい異業種連携協議会 第3回特別編セミナーアンケート結果

みまもりあいプロジェクトを京都府内に広める目的と同時に、音声 SNS の需要を確認する目的で、京都府主催の認知症にやさしい異業種連携協議会により、Zoom 講演会を実施した。

以下、アンケート結果のまとめである。

認知症にやさしい異業種連携協議会メンバーへの調査

実施日時	2021年5月13日
実施場所	Zoom
対象者	認知症に関連する異業種連携協議会のメンバー（参加者数：169名）
調査員	高原達也、塩澤卓巳

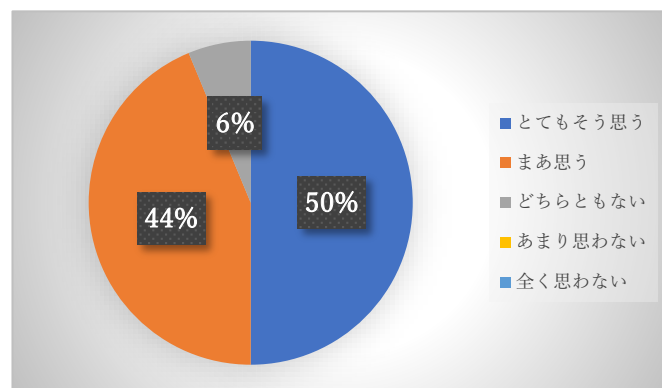
【調査まとめ】

- [1] 地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）を認知症の当事者・ご家族にすすめたいと回答して頂いた方々は、トップ2ボックスで、94%という回答を得られた。
- [2] 設問2より、個人情報非取得の地域共生支援アプリであれば、認知症当事者を第三者がサポート出来る環境であると回答して頂いた方々は、トップ2ボックスで85%と高い結果を得られた。これにより、京丹後市に続き、地域共生支援アプリであれば、認知症当事者の方々に対して、第三者がサポートできる環境を整えられる可能性が高いことが分かる。
- [3] 設問3より、地域共生支援アプリの音声 SNS（オンラインピアサポート機能）に需要があることが伺えると共に、認知症当事者の声を求めている事が分かる。事実、「認知症当事者のオンラインピアサポート」が始まったら、当事者やご家族にすすめたいと回答した方々は、トップ2ボックスで94%であった。
- [4] また、設問4より、音声 SNS の需要を確認した結果、トップ2ボックスで、91%の参加者から面白い取り組みであるという評価を得られた。

詳細：

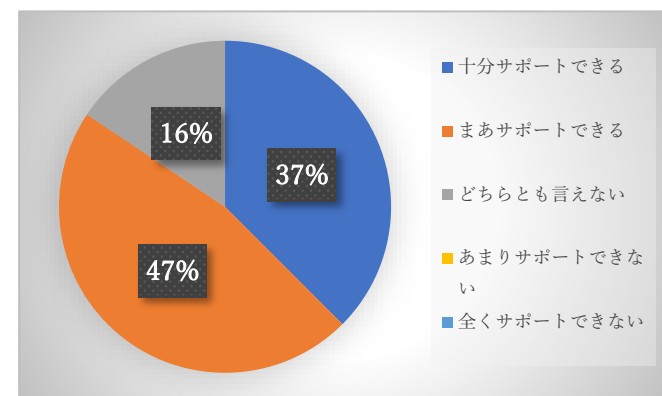
設問1	みまもりあいアプリを認知症の当事者・ご家族にすすめたいと思いますか？
-----	------------------------------------

	人数	%
とてもそう思う	16	50%
まあ思う	14	44%
どちらともない	2	6%
あまり思わない	0	0%
全く思わない	0	0%
無回答	0	0%
計	32	100%



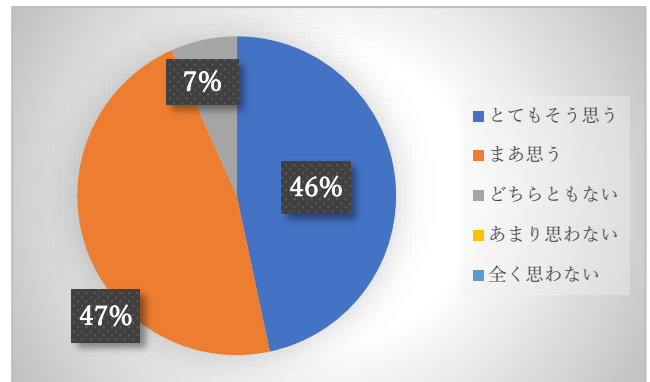
設問2	QRコードでグループに参加できる仕組みを体験して、もし認知症の当事者、ご家族から、みまもりあいアプリのダウンロードを手伝ってほしいと頼まれたとき、サポートしてあげられると思いますか？
-----	---

	人数	%
十分サポートできる	12	38%
まあサポートできる	15	47%
どちらとも言えない	5	16%
あまりサポートできない	0	0%
全くサポートできない	0	0%
無回答	0	0%
計	32	100%



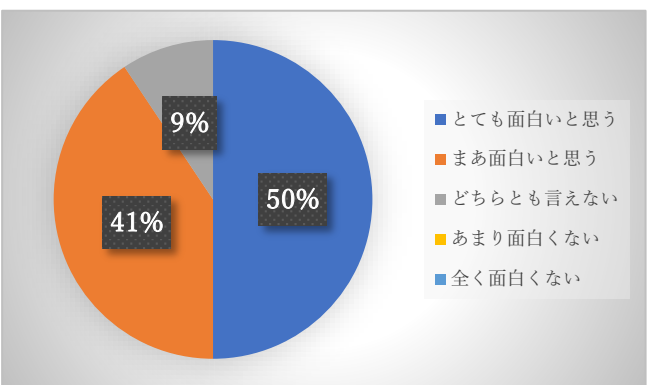
設問3 「認知症当事者のオンラインピアサポート」が始まったら（今年の秋以降の予定）、当事者やご家族にすすめたいですか？

	人数	%
とてもそう思う	7	47%
まあ思う	7	47%
どちらともない	1	7%
あまり思わない	0	0%
全く思わない	0	0%
無回答	0	0%
計	15	100%



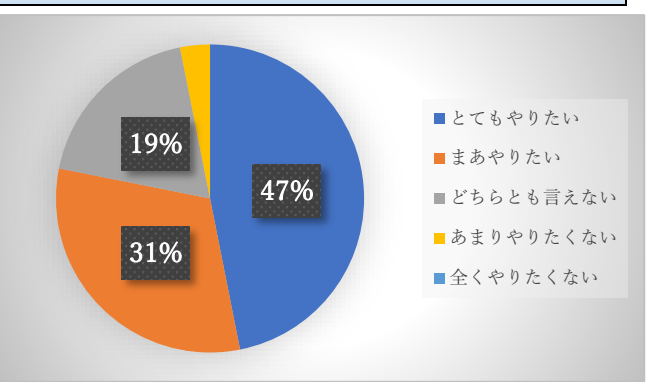
設問4 「認知症当事者の音声リレー企画」をどう思いますか？

	人数	%
とても面白いと思う	16	50%
まあ面白いと思う	13	41%
どちらとも言えない	3	9%
あまり面白くない	0	0%
全く面白くない	0	0%
無回答	0	0%
計	32	100%



設問5 コロナが落ち着いたら「見守り訓練・かくれんぼスタンプラリー」をやってみたいですか？

	人数	%
とてもやりたい	15	47%
まあやりたい	10	31%
どちらとも言えない	6	19%
あまりやりたくない	1	3%
全くやりたくない	0	0%
無回答	0	0%
計	32	100%



●実地調査Ⅲ：11月1日、霧島市講演アンケート結果

みまもりあいプロジェクトを霧島市に広める目的（設問 1-1~1-3）と同時に、音声 SNS の需要を確認する目的(設問 2-1~2-6)で、霧島市地域密着型サービス事業者連合会主催により、リアルでの講演会を実施した。また、5月の京都での2回の講演よりも、今回は音声 SNS に関する設問内容を増やし、より詳しいアンケート設計に変更を実施。

以下、アンケート結果のまとめである。

※地域共生支援アプリ内のアンケート機能だけでなく、紙でのアンケートもあわせて実施をした。なお、午前と午後の2回に分けて実施、午前は地域の見守り関連の方々にご参加頂き、午後は介護事業者の方々を中心にご参加頂いた。

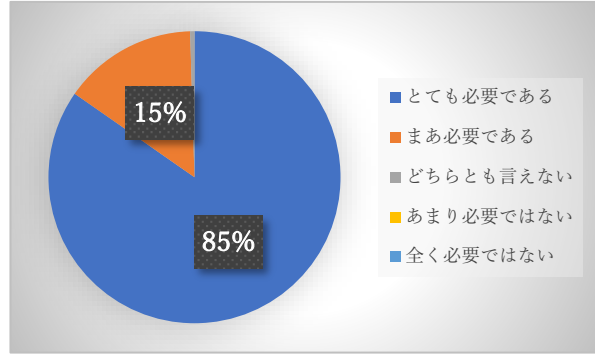
介護関係者等への調査

実施日時	2021年11月1日
実施場所	霧島市国分体育館
対象者	介護事業者・地域の見守りに興味のある関係者等（参加者数：209名）
調査員	高原達也、塩澤卓巳
<p>【調査まとめ】</p> <p>[1] 地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）を用いた、みまもりあいプロジェクトの取り組み対し、トップ2ボックスにて、必要であると回答して頂いた方々は、100%という結果が得られた。また、それだけにとどまらず、地域にみまもりあいプロジェクトを広げたいかという回答も100%という結果が得られ、霧島市において、地域互助、見守りに関する関心が高く、必要性を感じていることが伺える。</p> <p>[2] 設問2-1より、「誰もが困ったときに頼れるデータベース「声の図書館」が欲しいですか？」という問いに対し、トップ2ボックスで、79%の方々が欲しいと回答。また、「霧島市専用のラジオを聞いてみたいか？」に関して、トップ2ボックスで、80%の方々が聞きたいと回答。さらに、ご利用者・スタッフに「声の図書館」が欲しいかに対する回答は、ご利用者に対して欲しいと回答した方々はトップ2ボックスで、86%であった。そして、スタッフに対して欲しいと回答した方々は、トップ2ボックスで86%といずれも高い数値が出ている。</p> <p>因みに、音声 SNS を活用することで、近隣県内のお散歩支援、学び合い（観光チャンネル：鹿児島ブラさんぽ、霧島昔ばなし 100歳の声など）が広がったら、認知症当事者、ご家族、さらには自分たちも、今より外出してみたくありませんか？という設問に対して、外出したくなると回答を得られた方々はトップ2ボックスで75%であった。</p>	

詳細：

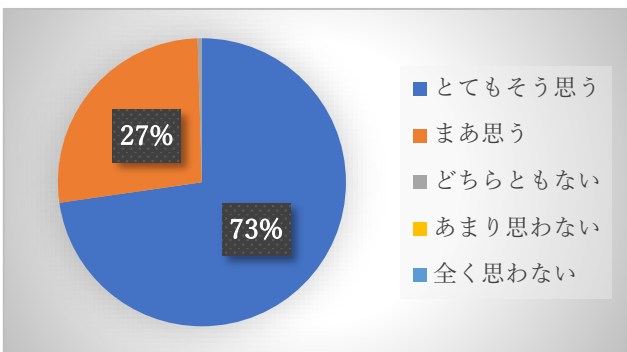
設問 1-1	個人情報を守りながら、地域に関わる人たちの力を借りて徘徊時の早期発見を実現する、「みまもりあいプロジェクト」の取り組みをどう思われますか？
--------	---

	人数	%
とても必要である	177	85%
まあ必要である	31	15%
どちらとも言えない	1	0%
あまり必要ではない	0	0%
全く必要ではない	0	0%
無回答	0	0%
計	209	100%



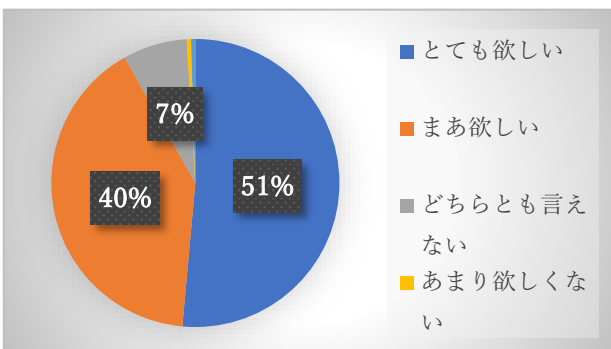
設問 1-2 自身が関わる地域（近所）に「みまもりあいプロジェクト」を広げたいと思いますか？

	人数	%
とてもそう思う	152	73%
まあ思う	56	27%
どちらともない	1	0%
あまり思わない	0	0%
全く思わない	0	0%
無回答	0	0%
計	209	100%



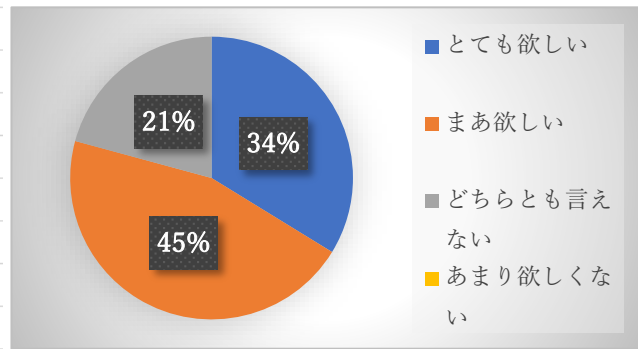
設問 1-3 地域の街づくりや福祉のために活動している非営利団体・NPO等の情報（イベント・セミナー等）が「みまもりあいアプリ」を經由して情報配信されるとしたら受け取りたいですか？

	人数	%
とても欲しい	107	51%
まあ欲しい	84	40%
どちらとも言えない	15	7%
あまり欲しくない	1	0%
全く欲しくない	1	0%
無回答	0	0%
計	208	100%



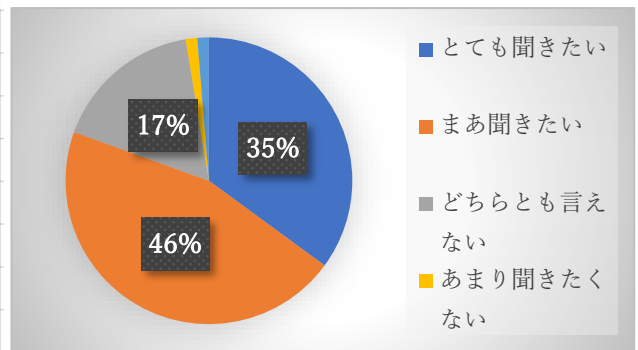
設問 2-1 誰もが困ったときに頼れるデータベース「声の図書館」が欲しいですか？

	人数	%
とても欲しい	26	34%
まあ欲しい	35	45%
どちらとも言えない	16	21%
あまり欲しくない	0	0%
全く欲しくない	0	0%
無回答	0	0%
計	77	100%



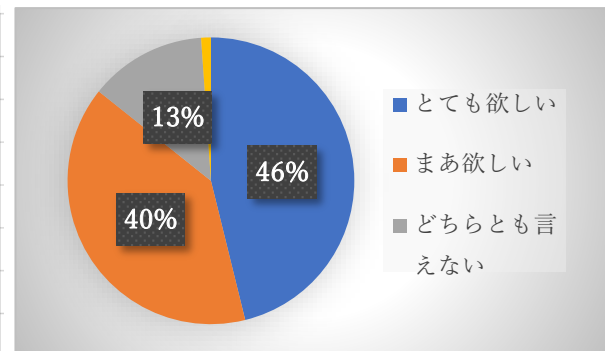
設問 2-2 霧島市専用の福祉ラジオを聞いてみたいですか？

	人数	%
とても聞きたい	27	35%
まあ聞きたい	35	45%
どちらとも言えない	13	17%
あまり聞きたくない	1	1%
全く聞きたくない	1	1%
無回答	0	0%
計	77	100%



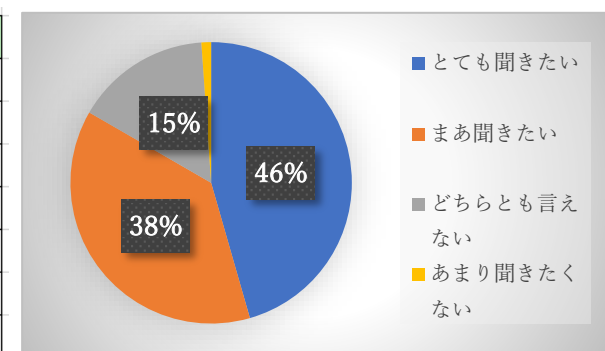
設問 2-3 ご利用者さんのための「声の図書館」が欲しいですか？

	人数	%
とても欲しい	42	46%
まあ欲しい	36	40%
どちらとも言えない	12	13%
あまり欲しくない	1	1%
全く欲しくない	0	0%
無回答	0	0%
計	91	100%



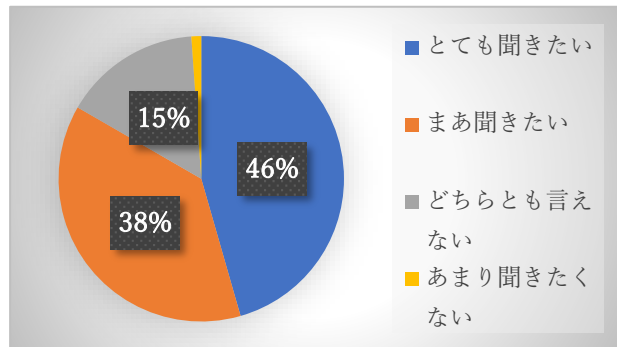
設問 2-4 スタッフのための「声の図書館」が欲しいですか？

	人数	%
とても聞きたい	41	46%
まあ聞きたい	34	38%
どちらとも言えない	14	16%
あまり聞きたくない	1	1%
全く聞きたくない	0	0%
無回答	0	0%
計	90	100%



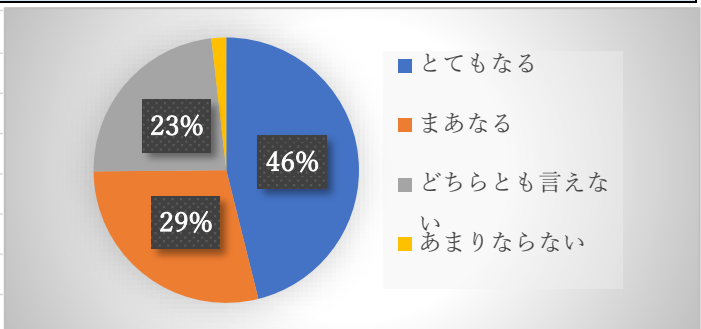
設問 2-5	近隣県内のお散歩支援、学びあい（観光チャンネル：鹿児島ブラさんぽ、霧島昔ばなし 100 歳の声など）がある町をつくりたいですか？
--------	--

	人数	%
とてもつくりたい	65	39%
まあつくりたい	70	42%
どちらとも言えない	29	17%
あまりつくりたくない	3	2%
全くつくりたくない	0	0%
無回答	0	0%
計	167	100%



設問 2-6	近隣県内のお散歩支援、学び合い（観光チャンネル：鹿児島ブラさんぽ、霧島昔ばなし 100 歳の声など）が広がったら、認知症当事者、ご家族、さらには自分たちも、今より外出してみたくありませんか？
--------	---

	人数	%
とてもなる	77	46%
まあなる	48	29%
どちらとも言えない	39	23%
あまりならない	3	2%
全くならない	0	0%
無回答	0	0%
計	167	100%



モニター確保テスト

来年度の効果検証を実施するにあたり、モニターを実際に確保することが可能なのか、モニター確保のためのテストを実施した。効果検証のモニター確保の経路として、認知症疾患医療センターの外来で、チラシを配布し、認知症当事者とそのご家族に、それぞれモニターになってもらうことを想定。ただし、テスト段階では、倫理審査が通っていない関係で、直接モニター集客することが難しく、以下の流れで行なった。

- ①認知症疾患医療センターの外来受診者にチラシを配布。（スマホを使用できることが前提となる為、スマホを持っている人、また、アプリを使用できそうな人に限定して配布。）
- ②配布後は特にサポートせず、ご本人に任せて、チラシのQRコードを読み込んで、アプリダウンロードをしてもらう。さらに、チラシに記載の通り、もう1度、QRコードを読み込んでグループに参加してもらう。

- ③グループに参加後、地域共生支援アプリのグループ掲示板で、音声コンテンツ等の情報配信をしつつ、モニターへ誘導。モニター誘導は、グループ登録時に「登録のお礼」と「モニター参加の誘導」の2つが表示されるように設定。

実施の結論

効果検証に影響が出ないように、二名の医師ともに関係性のあまりない患者・ご家族に配布をした中で、グループ登録率が20%であった。初めての試みの為、比較データがないことから登録率が高いか低いかの判断は出来ないが、推察として、MCIの人や、認知症が比較的初期の方々（ご家族含む）は、病気の受容が上手く出来ていないケースが多く、また実生活で困るケースが少なく、アプリの必要性を感じづらいため、グループ参加に至らなかった可能性がある。

モニター参加が0名だった件に対しては、モニター参加までに、【1】アプリダウンロード【2】グループ参加【3】モニター登録と、3段階ある事から、ステップが多すぎて行動に繋がらないことが考えられる。効果検証の際には、ステップを2段階にすることを検討する。また、予めモニターをやってくれそうな候補者をピックアップしておいてもらうようにすることで、モニター確保の目安の精度が上がると考える。さらに、外来時は相当忙しく、医師・看護師共にアプリに対する質問等を受けられないため、認知症当事者（ご家族含む）が、モニターに興味があっても一歩を踏み出せない可能性があり、チラシにサポート窓口の記載をし、事務局で対応できるようにする。

実施日時	2021年11月9日から2021年12月6日
実施場所	●京都府立医科大学病院の成本先生の外来、●京丹後市立弥栄病院の成本先生の外来、●長浜市立湖北病院の成本先生の外来、●公益財団法人浅香山病院の釜江先生の外来
対象者	●外来に来られた認知症当事者（MCI含む）、認知症当事者（MCI含む）ご家族
<p>【調査まとめ】</p> <p>[1] 配布枚数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成本先生：10名に配布（湖北病院1、弥栄病院4、大学5） ※すべて50～60代の家族に配布。当事者には配れず。 ・釜江先生：10組20名に配布（外来に来られた認知症当事者（MCI含む）とそのご家族） ※効果検証のモニター確保に影響が出ないように、今回はMCIや認知症の初診の方々に絞って配布された。 <p>補足：コロナ禍ということもあり、病院の外来に来れず、電話診療が普段よりも多かった。その関係で、チラシを配れない状況であった。また、効果検証のモニター確保に影響しないように選別していたこともあり、配布枚数が少なくなってしまった。</p> <p>[2] グループ登録者数（個人情報非登録でグループ登録してもらう流れの為、性別、年代等の情報なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成本先生：認知症当事者0名、ご家族2名 	

・釜江先生：認知症当事者 2 名、ご家族 2 名

[3] モニター登録数

・成本先生：認知症当事者 0 名、ご家族 0 名

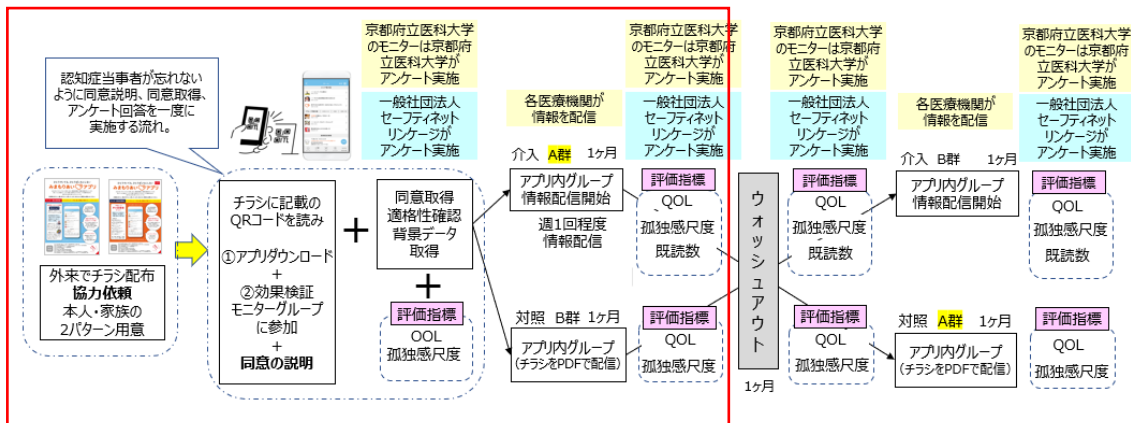
・釜江先生：認知症当事者 0 名、ご家族 0 名

プレ効果検証（流れの一部確認について）

来年度の効果検証を行なうにあたり、①本当にアプリダウンロード出来るのか？②アプリを使うことが出来るのか？③研究計画の通りに実施することは可能なのか？（全体計画は3ヶ月と長期であるため、今回は1ヶ月目までを確認）の3つを目的に実施した。

以下の図の赤枠の部分がプレ効果検証の部分にあたる。尚、今回は認知症疾患医療センターの外来ではなく、当社団とつながりのある認知症当事者と、認知症支援団体（公益社団法人認知症の人と家族の会京都府支部、大阪府支部）の協力を得て、認知症当事者とそのご家族にモニターになってもらい実施した。当社団と繋がりのないモニターには、効果検証の流れと同じようにチラシから手続きを行なってもらった。

また、効果検証と同じように、同意取得、情報提供、アンケートまで全てアプリ内で実施した。



実施の結論

認知症当事者(ご家族含む)の方々が、①本当にアプリダウンロード出来るのか？②アプリを使うことが出来るのか？③研究計画の通りに実施することは可能なのか？の3つに対し、母数は小さいながらも、いずれも出来ることが証明された。

また、認知症当事者において、QOL に変化が見られた。また、ご家族においては、QOL に関してプラス変化がマイナス変化と比べて多く見られた。ただし、一方で、認知症当事者の方々のみ、孤独感尺度

において、マイナス変化が多いという結果が出た。これに関しては、音声コンテンツを視聴することで、現在、自分がおかれている状況や心境と比較することで、マイナス変化に振れることがある可能性がある。また、今回は4名中、3名が男性であり、性別が起因している可能性も考えられる。孤独感尺度に関しては、来年度の効果検証の結果をみて、判断していく。

実施日時	2021年12月10日から2022年1月9日
実施場所	地域共生支援アプリ内
対象者	<p>●認知症当事者：4名 【内訳】男性3名、女性1名(代理登録) 【年齢】40代～60代 【診断名】アルツハイマー型認知症3名、レビー小体型認知症1名</p> <p>●認知症当事者ご家族：5名 【内訳】男性3名、女性2名 【年齢】50代～70代 【当事者の診断名】アルツハイマー型認知症4名、意味性認知症1名</p>
調査員	高原達也、塩澤卓巳
<p>【調査まとめ】</p> <p>[1] アプリダウンロードに関して、全てのモニターの方々が、事務局からのサポートをしなくても行なうことが出来た。(認知症当事者の方で、1名はスマホを本人が持っていないため、代理の方のスマホで参加)ただし、ご家族の中で男性1名、女性1名の計2名がグループ登録方法が分からず、Zoomで15分ほどサポートをし、グループ登録を完了させた。</p> <p>(アプリダウンロード後に、再度、同じQRコードを読み込むもしくは同じURLをタップしてグループに参加する導線に関しては、グループ参加の場合は、もう1度QRコードを読み込むもしくは、URLのタップが必要になる文面を画面上に表示させる改修を行なったことで解消できると考える。2022年3月より実装。)</p> <p>[2] 配信コンテンツに関して、週に1～2回の間隔で、音声コンテンツを配信。配信した音声コンテンツは、認知症当事者2名が司会を務める「昨日どうよ?」で、ゲストにも認知症当事者の方を向かえての番組を収録し、提供した。もう1つのコンテンツは、医師に一般の方から頂いた認知症に関する質問に答えてもらうコンテンツを提供。それぞれ、1回は10分程度の内容にした。この2つのコンテンツを聞いてもらうことで、QOLに関して変化が見られた。</p> <p>因みに、初回のコンテンツは全てのモニターの方々が聞いて頂けたが、2回目以降は、9人中8名～7名と、聞いて頂く確率の低下は見られた。ただ逆に、7名以下になることはなく、また、アプリの使用が分からず、音声を1度も聞かないというモニターもいなかった。これにより、ダウンロード後に、アプリが使えないということもないことが証明された。</p> <p>[3] アンケート回答に関して、アプリ上で実施を行ない、全てのモニターから回答を得られた。1名を除いては、アンケートの催促機能を用いることで、回答して頂くことが出来た。1名はメールでの催促後に、アプリ上でアンケートに回答して頂くことが出来た。</p> <p>アンケートの回答項目に関して、認知症当事者が普段使わない言葉の表現があり、回答に困るという意見もあった。また、ご家族からは、コロナの関係もあり、認知症当事者が施設に入所して会いに行けない状況になっている事から、質問の回答に困るというケースもあった。</p>	

[4] 認知症当事者のみならず、高齢者はアプリは使えないのではないか、研究計画は本当に実行できるのかというご意見を頂いていたが、母数が少なく、エビデンスとしては認められないが、9名ともが研究計画の流れを実行することが出来た。これにより、効果検証においても、高い確率で実行が可能であると考えられる。

■基礎情報

<当事者 4名>

■設問 1：お名前をご記入ください	N	M	H	S
■設問 2：生年月日をご記載ください	-	-	-	-
■設問 3：性別を教えてください	女性	男性	男性	男性
■設問 4：現在の職業を教えてください（なしの場合は、なしとご記載ください）	ピアサポーター	なし	無し	介護職
■設問 5：認知症の診断名を教えてください	アルツハイマー型認知症	レビー小体型認知症	アルツハイマー型	アルツハイマー型認知症
■設問 6：MMSE のスコア（点数）を教えてください	-	-	30点	-
■設問 7：認知症と診断されてからの経過年数を教えてください	3年以上～5年未満	5年以上	3年以上～5年未満	1年以上～3年未満
■設問 8：同居者の有無を教えてください	同居者はいない	同居者はいない	同居者がいる	同居者がいる
■設問 9：介護者の有無を教えてください	介護してくれている人はいません	介護してくれている人がいます	介護してくれている人がいます	介護してくれている人がいます
■設問 10：あなたの現在の介護度を教えてください	介護認定を受けていない	要支援1	介護認定を受けていない	介護認定を受けていない

■設問 11: スマホの使用歴を教えてください	1 年未満	3 年以上	3 年以上	3 年以上
■設問 12: 電話番号をご記入ください	-	-	-	-
■設問 13: 連絡が取れるメールアドレスをご記入ください	-	-	-	-

<ご家族 5 名>

■設問 1: お名前をご記入ください	T	A	M	I	K
■設問 2: 生年月日をご記載ください	-	-	-	-	-
■設問 3: 性別を教えてください	女性	女性	男性	男性	男性
■設問 4: 介護または同居されている認知症のご本人様との続柄（関係性）を教えてください	娘	妻	妻	配偶者	母
■設問 5: 介護または同居されている認知症のご本人様の診断名を教えてください	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病 認知症 進行性核上性麻痺	アルツハイマー病	意味性認知症	アルツハイマー型認知症
■設問 6: 介護または同居されている認知症のご本人様の MMSE のスコア（点数）が分かるのであれば、教えてください				一桁	不明
■設問 7: 介護または同居されている認知症のご本人様	1 年以上～3 年未満	3 年以上～5 年未満	5 年以上	3 年以上～5 年未満	5 年以上

が、認知症と診断されてからの経過年数を教えてください					
■設問 8：認知症のご本人様と同居されていますか？	同居者している	同居者している	同居者している	同居者している	同居者していない
■設問 9：あなた以外で介護者を手伝ってくれている人はいますか？	います	いません	います	いません	います
■設問 10：介護または同居されている認知症のご本人様の現在の介護度を教えてください	要介護 2	要介護 4	要介護 5	要介護 3	要介護 2
■設問 11：あなたのスマホの使用歴を教えてください	3 年以上	3 年以上	3 年以上	3 年以上	3 年以上
■設問 12：電話番号をご記入ください	-	-	-	-	-
■設問 13：連絡が取れるメールアドレスをご記入ください	-	-	-	-	-

■事前アンケート結果

<当事者 4名>

各項目において、あなたの今日の健康状態を最もよく表しているもの 1 つに印をつけてください。 ■設問 14：移動の程度	歩き回るのに問題はない	歩き回るのに少し問題がある	歩き回るのに少し問題がある	歩き回るのに問題はない
--	-------------	---------------	---------------	-------------

■設問 15:身の回りの管理	自分で身体を洗ったり着替えをするのに問題はない	自分で身体を洗ったり着替えをするのに少し問題がある	自分で身体を洗ったり着替えをするのに少し問題がある	自分で身体を洗ったり着替えをするのに少し問題がある
■設問 16:ふだんの活動 (例:仕事、勉強、家事、家族・余暇活動)	ふだんの活動を行うのに少し問題がある	ふだんの活動を行うのに少し問題がある	ふだんの活動を行うのに少し問題がある	ふだんの活動を行うのに少し問題がある
■設問 17:痛み / 不快感	痛みや不快感はない	中程度の痛みや不快感がある	少し痛みや不快感がある	少し痛みや不快感がある
■設問 18:不安 / ふさぎ込み	かなり不安あるいはふさぎ込んでいる	中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる	不安でもふさぎ込んでもいない	少し不安あるいはふさぎ込んでいる
■設問 19:あなたの今日の健康状態がどのくらい良いか悪いかを数字の0から100の間で、教えてください。(100はあなたの想像できる最も良い健康状態を、0はあなたの想像できる最も悪い健康状態を表しています。)	45	40	70	50
それぞれの項目について、あなたはどのくらいの頻度で感じているかお答えください。 ■設問 20:自分には人との付き合いがないと感じることがありますか?	時々ある	時々ある	ほとんどない	決してない

<p>■設問 21: 自分は取り残されていると感じることがありますか？</p>	時々ある	時々ある	決してない	決してない
<p>■設問 22: 自分以外の人たちから孤立していると感じることはありますか？</p>	ほとんどない	時々ある	決してない	時々ある
<p>●あなたは、「地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）」を用いた、在宅の認知症初期の当事者(MCI、若年性認知症を含む)・家族のQOLの改善効果の検証(テストモニター)」に参加するにあたり、添付された説明文書を確認し、内容を理解したうえで、ご自分の自由意思により、このテストモニターに参加することに同意しますか？</p>	はい、同意します	はい、同意します	はい、同意します	はい、同意します
<p>●本研究で得られた情報を、別の研究等のために使用することについて</p>	同意します	同意します	同意します	同意します

※回答者がご本人ではなく代理の方がご記入の場合は、以下にお名前と、続柄（関係性）をご記載ください	-			
■お名前				
■続柄（または関係性）	職場の同僚			

<ご家族 5名>

各質問について、あなたの気持ちに最も当てはまると思うものを選んで下さい。	よく思う	たまに思う	たまに思う	いつも思う	たまに思う
■設問14:介護を受けている方の行動に対し、困ってしまうと思うことがありますか？					
■設問15:介護を受けている方のそばにいと腹が立つことがありますか？	よく思う	時々思う	思わない	よく思う	たまに思う
■設問16:介護があるので、家族や友人と付き合いづらくなっていると思いますか？	よく思う	よく思う	思わない	いつも思う	思わない
■設問17:介護を受けている方のそばにいと、気が休まらないと思います	よく思う	いつも思う	思わない	よく思う	いつも思う

か？					
■設問18:介護があるので、自分の社会参加の機会が減ったと思うことがありますか？	よく思う	いつも思う	思わない	いつも思う	思わない
■設問19:介護を受けている方が家にいるので、友達を自宅によびたくてもよべないと思っただけのことがありますか？	よく思う	思わない	思わない	思わない	思わない
■設問20:介護をだれかに任せてしまいたいと思うことがありますか？	よく思う	よく思う	思わない	時々思う	よく思う
■設問21:介護を受けている方に対して、どうしていいかわからないと思うことがありますか？	よく思う	時々思う	たまに思う	よく思う	たまに思う
■設問22:自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか？	時々ある	時々ある	決してない	時々ある	決してない
それぞれの項目について、あなたはどのくらいの頻度で感じているかお答えください。	ほとんどない	時々ある	決してない	時々ある	決してない
■設問23:自分には人との付き合いがないと感じること					

がありますか？					
■設問 24:自分は取り残されていると感じることがありますか？	常にある	時々ある	決してない	常にある	決してない
■設問 25:自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか？	時々ある	時々ある	決してない	常にある	時々ある
●あなたは、「地域共生支援アプリ（みまもりあいアプリ）」を用いた、在宅の認知症初期の当事者（MCI、若年性認知症を含む）・家族の QOL の改善効果の検証（テストモニター）」に参加するにあたり、添付された説明文書を確認し、内容を理解したうえで、ご自分の自由意思により、このテストモニターに参加することに同意しますか？	同意します	同意します	同意します	同意します	同意します
●本テストモニターで得られた情報を、別の研究等のために使用することについて	同意します	同意します	同意します	同意します	同意します

■事後アンケート結果

<当事者 4名>

回答者名	N	M	H	S
------	---	---	---	---

各項目において、あなたの今日の健康状態を最もよく表しているもの1つに印をつけてください。 ■設問1：移動の程度	歩き回るのに問題はない	歩き回るのに問題はない	歩き回るのに問題はない	歩き回るのに問題はない
■設問2：身の回りの管理	自分で身体を洗ったり着替えをするのに問題はない	自分で身体を洗ったり着替えをするのに少し問題がある	自分で身体を洗ったり着替えをするのに問題はない	自分で身体を洗ったり着替えをするのに少し問題がある
■設問3：ふだんの活動（例：仕事、勉強、家事、家族・余暇活動）	ふだんの活動を行うのに少し問題がある	ふだんの活動を行うのに中程度の問題がある	ふだんの活動を行うのに問題はない	ふだんの活動を行うのに少し問題がある
■設問4：痛み / 不快感	少し痛みや不快感がある	中程度の痛みや不快感がある	痛みや不快感はない	少し痛みや不快感がある
■設問5：不安 / ふさぎ込み	中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる	中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる	不安でもふさぎ込んでもいない	少し不安あるいはふさぎ込んでいる
■設問6：あなたの今日の健康状態がどのくらい良いか悪いかを数字の0から100の間で、教えてください。（100はあなたの想像できる最も良い健康状態を、0はあなたの想像できる最も悪い健康状態を表しています。）	60	67	80	80
それぞれの項目について、あなたはどのくらいの頻度で感じているかお答えください。 ■設問7：自分には人との付き合いがないと感じることがありますか？	時々ある	時々ある	ほとんどない	ほとんどない

<p>■設問 8：自分は取り残されていると感じることがありますか？</p>	時々ある	時々ある	ほとんどない	時々ある
<p>■設問 9：自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか？</p>	ほとんどない	時々ある	ほとんどない	時々ある

<ご家族 5名>

回答者名	T	A	M	I	K
<p>各質問について、あなたの気持ちに最も当てはまると思うものを選んで下さい。</p> <p>■設問 1：介護を受けている方の行動に対し、困ってしまうと思うことがありますか？</p>	よく思う	たまに思う	たまに思う	よく思う	時々思う
<p>■設問 2：介護を受けている方のそばにいと腹が立つことがありますか？</p>	よく思う	時々思う	思わない	よく思う	たまに思う
<p>■設問 3：介護があるので、家族や友人と付き合いづらくなっていると思いますか？</p>	よく思う	たまに思う	思わない	よく思う	思わない
<p>■設問 4：介護を受けている方のそばにいと、気が休まらないと思いますか？</p>	よく思う	よく思う	思わない	よく思う	時々思う

<p>■設問 5：介護があるので、自分の社会参加の機会が減ったと思うことがありますか？</p>	よく思う	たまに思う	思わない	よく思う	思わない
<p>■設問 6：介護を受けている方が家にいるので、友達を自宅によびたくてもよべないと思っただけことがありますか？</p>	よく思う	たまに思う	思わない	思わない	思わない
<p>■設問 7：介護をだれかに任せてしまいたいと思うことがありますか？</p>	よく思う	時々思う	思わない	たまに思う	時々思う
<p>■設問 8：介護を受けている方に対して、どうしていいかわからないと思うことがありますか？</p>	よく思う	時々思う	思わない	よく思う	たまに思う
<p>それぞれの項目について、あなたはどのくらいの頻度で感じているかお答えください。</p> <p>■設問 9：自分には人との付き合いがないと感じることがありますか？</p>	時々ある	ほとんどない	決してない	時々ある	決してない
<p>■設問 10：自分は取り残されていると感じることがありますか？</p>	時々ある	ほとんどない	決してない	時々ある	決してない

■設問 11：自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか？	時々ある	決してない	決してない	ほとんどない	ほとんどない
--------------------------------------	------	-------	-------	--------	--------

■事前・事後アンケートのまとめ

ご本人		■設問1：移動の頻度	■設問2：身の回りの管理	■設問3：ふだんの活動 (例：仕事、勉強、家事、家族・余暇活動)	■設問4：痛み / 不快感	■設問5：不安 / ふさぎ込み	■設問6：あなたの今日の健康状態がどのくらい良いか悪いかを数字の0から100の間で、教えてください。	Profile	Index Value	設問6の事前、事後の差
		Hさん(事前)	2	2	2	2	1	70	22221	0.73663
Hさん(事後)	1	1	1	1	1	80	11111	1.00000		
Mさん(事前)	2	2	2	3	3	40	22233	0.60250	27点+	
Mさん(事後)	1	2	3	3	3	67	12333	0.62564		
Sさん(事前)	1	2	2	2	2	50	12222	0.72871	30点+	
Sさん(事後)	1	2	2	2	2	80	12222	0.72871		
Nさん(事前)	1	1	2	1	4	45	11214	0.72050	15点+	
Nさん(事後)	1	1	2	2	3	60	11223	0.73363		

評価指標
EQ-5D-5L

ご本人		■設問7：自分には人との付き合いがないと感じることがありますか？	■設問8：自分は取り残されていると感じることがありますか？	■設問9：自分とは他の人たちから孤立していると感じることがありますか？
		Mさん	変化なし	変化なし
Hさん	変化なし	1-	1-	
Sさん	1-	1-	変化なし	
Nさん	変化なし	変化なし	変化なし	

評価指標
孤独感尺度(青枠)
+変化：0ヶ所
-変化：4ヶ所

※事前アンケートを軸に、+変化か-変化かを数値で記載してあります

ご家族		■設問1：介護を受けている方の行動に対し、困ってしまうことがありますか？	■設問2：介護を受けている方のそばに立つことがありますか？	■設問3：介護がある中で、家族や友人と付き合いづらくなっていると思いますか？	■設問4：介護を受けている方のそばにいないと、気が休まらないと思いますか？	■設問5：介護がある中で、自分の社会参加の機会が減ったと思いますか？	■設問6：介護を受けている方が家にいるので、友達を自宅によびたくてもよべないと思いますか？	■設問7：介護をだれかに任せてしまいたいと思うことがありますか？	■設問8：介護を受けている方に対して、どうしていいかわからないかと思うことがありますか？	■設問9：自分には人との付き合いがないと感じることがありますか？	■設問10：自分は取り残されていると感じることがありますか？	■設問11：自分とは他の人たちから孤立していると感じることがありますか？
		Iさん	1+	変化なし	1+	変化なし	1+	変化なし	1+	変化なし	変化なし	変化なし
Tさん	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	1-	1+	
Mさん	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	1+	変化なし	変化なし	変化なし	
Tさん	1-	変化なし	変化なし	2+	変化なし	変化なし	1+	変化なし	変化なし	変化なし	1-	
Aさん	変化なし	変化なし	2+	1+	3+	1-	1+	変化なし	1+	1+	2+	

評価指標と変化	J-ZBI +変化：11ヶ所 -変化：2ヶ所	孤独感尺度(青枠) +変化：5ヶ所 -変化：2ヶ所
---------	-------------------------------------	--